

西南地域の大气汚染情報

2018年5月
在重慶日本国総領事館

中国では、大气汚染に関するデータや公式見解の公表が少ないため、日本国内では依然として「中国の空気は著しく悪い」と信じられているようです。以下はあくまでご参考ですが、当館館員や当地在留邦人の皆さんの一般的な感想とともに、各地政府の公開情報を紹介したいと思います。

重慶市や四川省の大气汚染は、ここ数年で大幅に改善されており、特に重慶市においては沿海部や他の内陸工業地域と比較しても良いとされています。「霧都」と呼ばれる重慶市は、一年を通じてモヤがかかった状態の日が多いのが特徴ですが、これはあくまで霧であってスモッグではありません。在留邦人の皆さんの中では、ゴルフやテニスなどのアウトドアスポーツを普通に楽しんでおられる例も多く、大气汚染に対する特段のご相談が寄せられることもほとんどありません。

他方、マスクを常用する人はほとんど見ないものの、依然としてPM2.5の値は平均的に日本の標準を上回る日が多いという状態には変わりなく、また重慶市や四川省の都市部は盆地に位置するため、一旦汚染されると大气が拡散されずに集積し、大气環境が劣悪化しやすいといった特徴もあるので、日頃から注意するに超したことはありません。

雲南省や貴州省では、高原地域であるため大气汚染が集積されにくく、重慶市や四川省と比べ大气の状態は良いとされています。雲南省は「四季如春」（一年中春のようだ）、貴州省は「夏は貴州、冬は海南島」と呼ばれるように、ともに空気の良さを売りにして、リゾート地、別荘地として中国人の間に人気です。

1 重慶市

市政府の発表によると、2017年の重慶市の環境指数は改善され、大气環境優良日数は303日で、PM2.5濃度は前年同比16.7%減った。

重庆市环境保护局 <http://www.cepb.gov.cn/index.shtml>

2 四川省

省政府の発表によると、2017年の四川省の大气汚染は著しく良くなっている。また、大气汚染防止策を強化したところ、PM10及びPM2.5の濃度は前年度に比べ減り、全省都市の大气環境優良日数率は年間82.2%に達し、最高値を更新した。

四川省环境保护厅 <http://www.schj.gov.cn/>

3 雲南省

省政府の発表によると、2017年の省内の大气環境優良日数率は年間98.2%に達した。

云南省环境保护厅 <http://www.ynepb.gov.cn/>

4 貴州省

環境保護庁によると、2017年の大気汚染は継続的に安定して改善している。2017年1月から10月まで、全省9都市の大気環境優良日数率は97.3%に達した。

貴陽日報によると、貴陽市の2017年1月から12月までの大気環境は全国第9位となり、大気優良日数は347日で、優良日率は95.1%に達した。

贵州省环境保护厅 <http://www.gzhjbh.gov.cn/>

注1：中国における大気環境優良日は、AQI値100以下を指す。

AQI値とはPM2.5以外の汚染物質も含め、空気中の汚染物質の濃度に応じた健康影響とその影響を避けるための行動指針を示すための指数。

AQI値や大気汚染濃度等の指標等の詳しい読み方を含むPM2.5汚染に関する詳細は、在中国日本国大使館作成資料を参照ください。

http://www.cn.emb-japan.go.jp/consular_j/joho161031_j.pdf

注2：重慶市の大気環境優良日数は303日、四川省は同様に82.2%（300日）

とありますが、1年の約2ヶ月間は汚染された環境・身体に影響を及ぼす生活環境にいることとなりますので注意が必要です。